

労働災害発生状況

(平成23年～25年発生分)

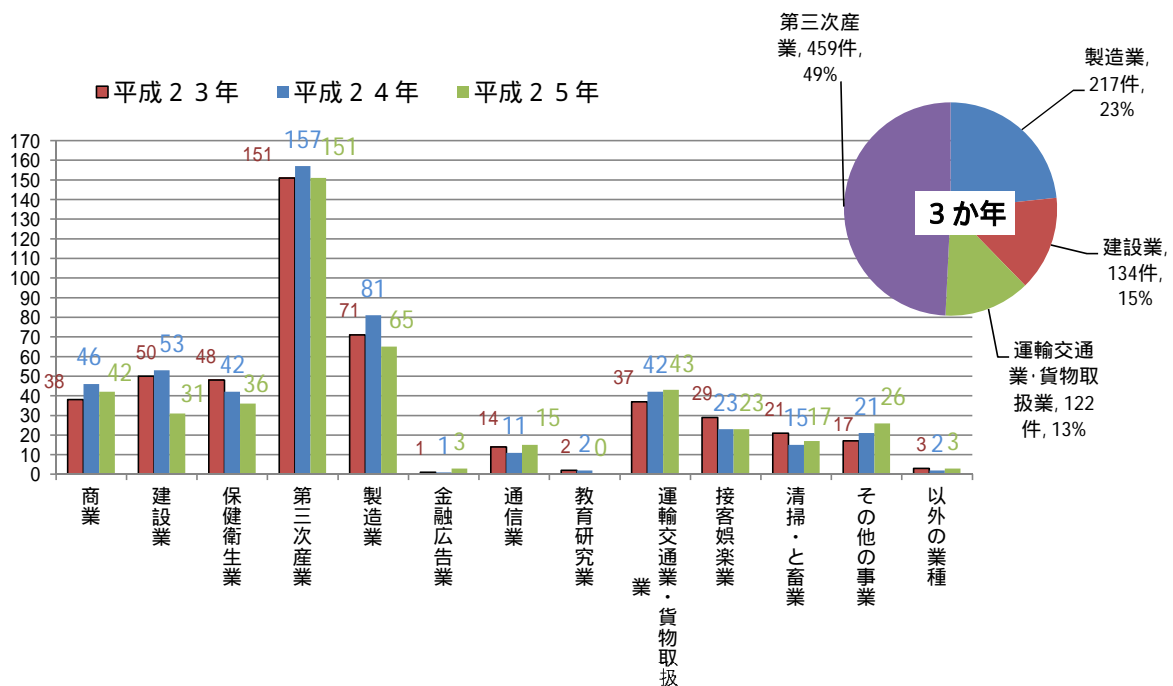
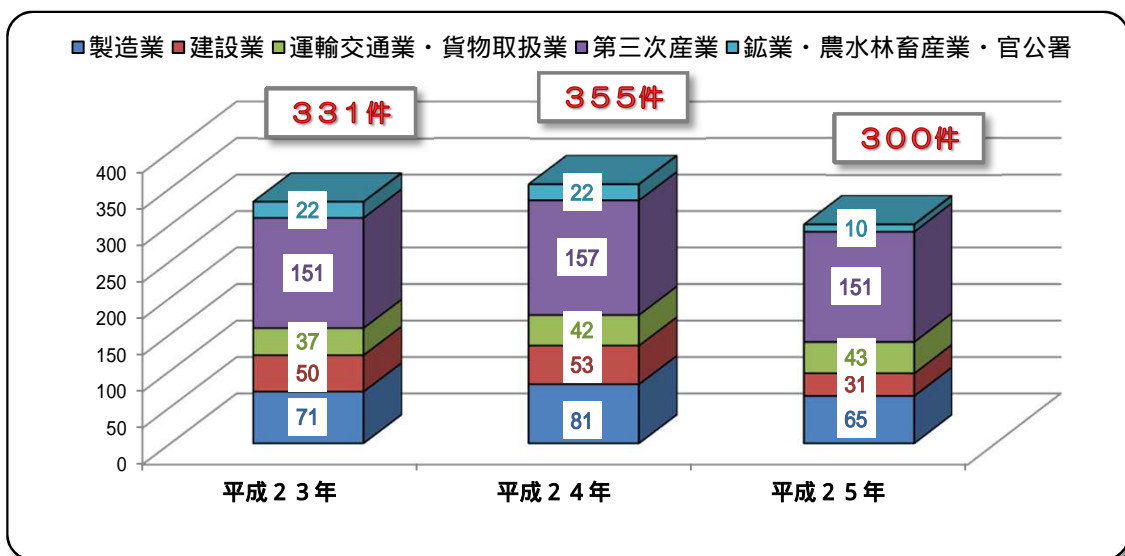
◇労働災害発生件数(休業4日以上)

休業4日以上死傷災害は、平成23年に331件、平成24年には355件発生し、14件と増加しましたが、平成25年は300件の発生となり、対前年比で55件の大幅な減少となりました。

また、死亡災害については、統計調査開始以降初めて『ゼロ』となりました。

平成17年より総労働災害数が毎年増減を繰り返し、緩やかに減少しているのが当署の特徴です。業種別の対前年比では、その他の3次産業と運輸交通・貨物取扱業で増加している以外は減少しています。

また、商業、運輸交通・貨物取扱業の労働災害発生については、近年横ばい状況が続いており、全体の労働災害に占める割合が高くなっています。

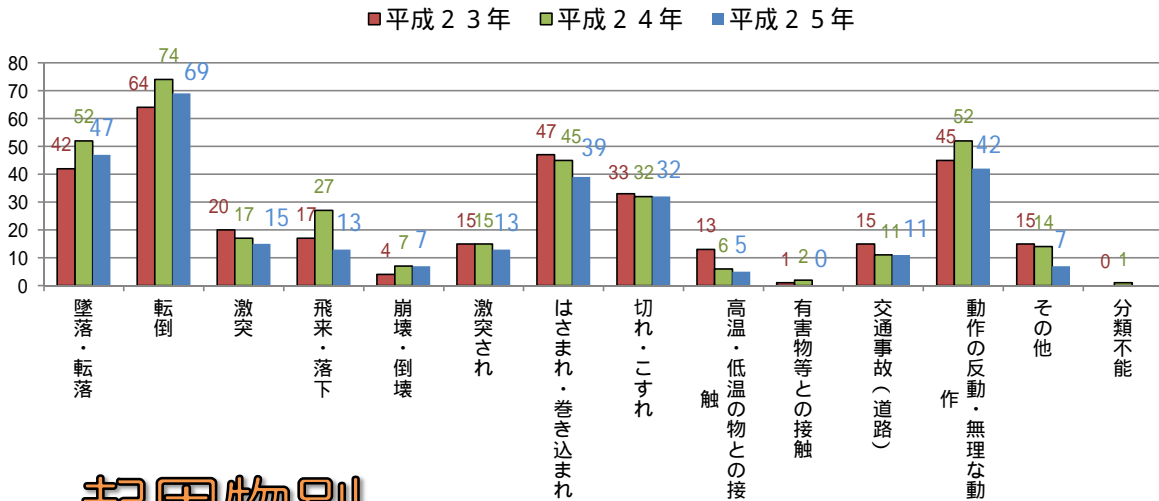
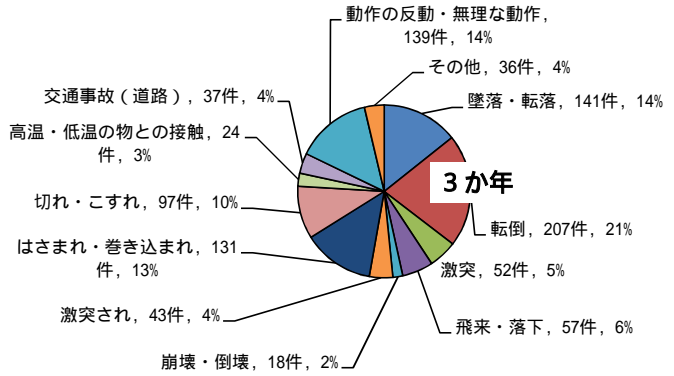


青梅労働基準監督署

事故の型別

平成25年に発生した労働災害の事故の型別にみると、「転倒」が最も多く、「墜落転落」、「動作の反動・無理な動作」の順となっています。全業種を通じて転倒災害が多く発生しており、日常的にKY、4S活動を取り入れ、整理整頓を励行し、効果的な安全衛生活動を推進することが重要です。

特に安全衛生の「見える化」の推進を図ってください。



起因物別

起因物別にみると、脚立等を含む「その他の装置・設備」が最も多く、次に「仮設物、建築物、構築物等」となっており、「転倒」、「墜落転落」、「動作の反動・無理な動作」災害につながっています。

注意したいのは、クレーンやフォークリフトやトラックを含む「物上げ・運搬機」による災害が労働災害全体の減少傾向の中、大きく増加しています。

また、トラックが起因したものでは、「墜落・転落」による災害の発生が見られます。

